

# 秋田市がめざす 「文化創造の まちづくり」

令和8年

3/22日

入場  
無料

定員100名

事前申込必要

秋田市では、歴史や文化など、これまで受け継がれてきた地域資源を土台に新たな価値を生み出す文化創造のまちづくりを目指しています。「なぜ、文化創造のまちを目指すのか」、「文化創造はまちに何をもたらすのか」など、まちづくりの視点から文化の振興を考えてみましょう。

時間 ● 午後1時30分(午後1時開場)から  
午後4時00分まで

場所 ● にぎわい交流館AU 3階多目的ホール  
秋田市中通一丁目4番1号

※お車でお越しの場合は有料駐車場をご利用ください。

## [申し込み方法]

2月24日(火)8:30から3月19日(木)  
17:00まで、右記コードの申し込み  
フォーム、又は電話で文化振興課へ。  
☎018-888-5607



## 第1部

### 第46回市民文化のつどい・第22回郷土秋田を考える文化講演会 講演「文化創造がまちをつよくなる」

市民文化のつどい、郷土秋田を考える文化講演会は、市民の文化振興を図るため、毎年異なる文化のテーマを設定しながら講演会等を開催しています。今年度のテーマは「文化創造」。

講師：西原 珉 氏（秋田市文化創造館 館長）

東京藝術大学美術学部卒業。キュレーター／心理療法師。1990年代の現代美術シーンで活動後に渡米し、ロサンゼルスでソーシャルワーカー兼臨床心理療法師として働く。家族療法、認知行動療法を中心に多くのアプローチを実施し、個人・グループに心理療法を行うほか、シニア施設、DVシェルターなどでコミュニティを基盤とするアートプロジェクトを実施。2018年に日本に戻り、アートとレジリエンスに関わる活動を行う。2021年4月より秋田公立美術大学で教鞭をとり、国際美術展シリーズ「SPRING 2021」「SUMMER 2022」、展覧会「When we talk about us,」（2023）、国際芸術祭「東京ビエンナーレ2023」を手掛ける。現在、東京藝術大学先端芸術表現科准教授。美術評論家連盟会員。

主催：秋田市

共催：（一社）秋田市文化団体連盟・秋田市の文化を育てる市民の会



photo by Kimi

## 第2部

### トークイベント「まちは変わったか。」

芸術文化ゾーンとまちなかの市民文化活動が、秋田のまちにどんな変化をもたらすのか、「文化創造」を切り口に考えてみます。

パネラー：藤 浩志（秋田市文化創造館 前館長）

美術家 秋田公立美術大学教授、NPO法人アーツセンターあきた理事長  
京都市立芸術大学大学院美術研究科修了後、パプアニューギニア国立芸術学校講師、都市計画事務所勤務を経て美術家として活動。東北と九州を拠点に様々なフィールドで新しい活動をつくりだすプロジェクトを実践。  
<https://www.fujistudio.co>

西原 珉（秋田市文化創造館 館長）

齋藤 一洋（秋田市企画財政部長）

2013年からあきた芸術劇場ミルハスおよび文化創造館の整備を担当し、芸術文化ゾーンを中心としたまちづくりに取り組む。2016年企画調整課長、市民力による文化創造プロジェクトを進める。2022年より現職。



藤 浩志



齋藤 一洋

主催：秋田市

【お問合せ】秋田市観光文化スポーツ部文化振興課

TEL.018-888-5607(平日8:30~17:15) mail:ro-edcl@city.akita.lg.jp